



慶應義塾大学ビジネス・スクール

しのはらプレスサービス株式会社（A）

5

「プレス業界において『労働集約型』ビジネスから『知識集約型』ビジネスへの転換を実現したことが、しのはらプレスサービスの原点、もう40年以上前のことです。そして現在、私たちは新しい進化を遂げつつあります。当社はすでにプレス機械のライフサイクル全般にわたるトータルソリューションを提案できる体制を整え、それをビジネスとして実現させてもいます。このソリューションの範囲をさらに拡大させたい。そのために当社単体の展開にとどまらず、さまざまなパートナーシップを検討していきます。わが国にはユニークな技術を有するプレスメーカーや部品メーカーがいくつもあります。さらには別の業界の技術会社、海外の企業、あるいは教育機関などが有するナレッジやテクノロジーを、当社がハブとなって結び付けていく。『緩やかな連携』が良いのです。各個の企業が自立しながら、場合に応じて手を携えて新しい価値を生み出していく。連携の形をフレキシブルに変えれば、状況やニーズの変化にスピーディーに対応できます。」(しのはらプレスサービス株式会社 社長 篠原正幸氏、同社案内パンフレットより)

10

15

概要

しのはらプレスサービス株式会社（以下、しのはらプレスサービス）は、千葉県船橋市潮見町にある、社員約200名（2018年現在）、資本金9,000万円、売上高29.5億円（2017年度）の企業である（会社概要は**付属資料1**を参照）。昭和48年（1973年）6月に篠原敬治氏（現、代表取締役会長）によって設立された。

20

同社のルーツは工作機メーカーである篠原機械製作所であり、昭和35年（1960年）にプレス機械の生産を開始してから10年間で、300トン以下のプレス機械に関して国内シェアの約50%を占めるまでになった。しかし、当時、同社の社員だった篠原敬治氏が製品メンテナンスの分野を新たなビジネスモデルとして確立すべく、同社から独立してしのはらプレスサービスを創設した（会社沿革は**付属資料2**を

25

本ケースは、表題企業の全面的な協力を得て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科専任講師 市来寄治が作成したものである。本ケースは、クラス討議の資料として用いるためのもので、経営管理の巧緻を記述したものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 市来寄治（2018年10月作成）